

2025年度（令和7年度） 町田市立南中学校 数学科 2年 年間指導計画及び評価基準

使用教科書：新しい数学（東京書籍） 年間授業時数：105時間（定期考査4時間分含む）

月	単元・章・教材名	時数	学習目標	学習活動	評価基準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4 5	1章 式の計算 多項式の計算 単項式の乗法と除法 式による説明 等式の変形 	15	- 身のまわりの問題を、具体的な数の計算をもとに考え、文字を用いて一般的に表す必要性を理解する。 - 単項式と多項式、次数の意味を理解する。 - 同類項の意味を理解し、同類項をまとめる計算や、多項式の加法や減法の計算ができる。 - 多項式と数の乗法や除法の計算ができる。 - 単項式どうしの乗法や除法、それが混じった式の計算ができる。 - 式の値をくふうして求めることができる。 - 数の性質が成り立つことを、文字を使って説明することができる。 - 目的に応じて等式を変形することの必要性を理解し、ある文字について解くことができる。	- 単項式と多項式、次数の意味を知る。 - 同類項の意味を知り、同類項をまとめる計算や多項式の加法や減法の計算をする。 - 多項式と数の乗法や除法の計算をする。 - 単項式どうしの乗法や除法、それが混じった式の計算をする。 - 式の値をくふうして求める方法を考え、その方法で式の値を求める。 - 数の性質が成り立つことを、文字を使って説明する。 - 等式を変形して、ある文字について解く。	- 簡単な整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算をすることができる。 - 具体的な事象の中の数量の関係を、文字を使った式で表したり、式の意味を読み取ったりすることができる。 - 文字を使った式で数量及び数量の関係を捉え説明できることを理解している。 - 目的に応じて、簡単な式を変形することができる。	- 具体的な数の計算や既に学習した計算の方法と関連付けて、整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算の方法を考察し表現することができる。 - 文字を使った式を活用して具体的な場面を考察し表現することができる。	- 文字を使った式の必要性和意味を考えようとしている。 - 文字を使った式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 - 文字を使った式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
5 6	2章 連立方程式 連立方程式とその解 連立方程式の解き方 いろいろな連立方程式 連立方程式の利用 	12	2元1次方程式とその解の意味、連立方程式とその解の意味を理解する。 - 加減法、代入法を理解し、それを用いて連立方程式を解くことができる。 - 連立方程式を適当な方法で解くことができる。 - かっこや係数に小数や分数をふくむ連立方程式、$A=B=C$の形をした連立方程式を解くことができる。 - 具体的な問題を、連立方程式を利用して解決するときの考え方や手順を理解する。 - 具体的な問題を、連立方程式を利用して解決することができる。	2元1次方程式と連立方程式のその解の意味を知る。 - 連立方程式を加減法、代入法で解く。 - 連立方程式を適当な方法で解く。 - かっこや係数に小数や分数をふくむ連立方程式、$A=B=C$の形をした連立方程式を解く。 - 連立方程式を利用して問題を解決するときの手順を確認する。 - 具体的な問題を、連立方程式を利用して解決する。	2元1次方程式とその解の意味を理解している。 - 連立2元1次方程式の必要性和意味及びその解の意味を理解している。 - 簡単な連立2元1次方程式を解くことができる。	1元1次方程式と関連付けて、連立2元1次方程式を解く方法を考察し表現することができる。 - 連立2元1次方程式を活用して具体的な場面を考察し表現することができる。	- 連立2元1次方程式の必要性和意味を考えようとしている。 - 連立2元1次方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 - 連立2元1次方程式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
7 8 9	3章 1次関数 1次関数 1次関数の値の変化 1次関数のグラフ 連立方程式とグラフ 1次関数とみなすこと 1次関数のグラフの利用 1次関数と図形  	19	1次関数の意味を理解し、$y=ax+b$の式に表すことができる。 1次関数$y=ax+b$では、変化の割合は一定で、aに等しいことを理解する。 1次関数$y=ax+b$のグラフの増減と特徴を理解する。 1次関数のグラフを、切片と傾きをもとにかくことができる。 1次関数の表、式、グラフの関係について理解する。 1次関数の式を求めることができる。 2元1次方程式のグラフは、その解を座標とする点の集合で、式を変形してできる1次関数のグラフになっていることを理解する。 2元1次方程式のグラフをかくことができる。 - 連立方程式の解が、2つの2元1次方程式のグラフの交点の座標であることを理解し、連立方程式の解を、グラフをかいて求めたり、2直線の交点の座標を連立方程式を解いて求めたりすることができる。 - 具体的な事象の中の2つの数量の間の関係を1次関数とみなして、問題を解決することができる。	1次関数の意味を理解し、$y=ax+b$の式に表す。 1次関数$y=ax+b$では、変化の割合は一定で、aに等しいことを知る。 1次関数$y=ax+b$のグラフの増減と特徴を知る。 1次関数のグラフを、切片と傾きをもとにかく。 1次関数の表、式、グラフの関係についてまとめる。 1次関数の式を求める。 2元1次方程式のグラフは、式を変形してできる1次関数のグラフになっていることを知る。 2元1次方程式のグラフをかく。 - 連立方程式の解と2つの2元1次方程式のグラフの交点の座標の関係を理解し、連立方程式の解をグラフをかいて求めたり、2直線の交点の座標を連立方程式を解いて求めたりする。 - 具体的な事象の中の2つの数量の間の関係を1次関数とみなして、問題を解決す	1次関数について理解している。 - 事象の中には1次関数として捉えられるものがあることを知っている。 2元1次方程式を、関数を表す式とみることができ 1次関数の変化の割合やグラフの切片と傾きの意味を理解している。 1次関数の関係を表、式、グラフを用いて表現したり、処理したりすることができる。	1次関数として捉えられる2つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現することができる。 1次関数を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。	1次関数の必要性和意味を考えようとしている。 1次関数について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 1次関数を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。

				る。			
9 10 11	4章 平行と合同 多角形の角の和の説明 平行線と角 合同な図形の性質と表し方 三角形の合同条件 証明のすすめ方 📄 ICT	1 5	・多角形の内角と外角の和の求め方を、もとにしていることがらを明らかにして説明することができる。 ・対頂角、同位角、錯角の意味を理解する。 ・対頂角は等しいこと、平行線と同位角、錯角の関係を、論理的に筋道を立てて説明することができる。 ・三角形の内角と外角の性質を、論理的に筋道を立てて説明することができる。 ・三角形の内角、外角の性質や多角形の内角の和、外角の和の性質を利用して、角の大きさを求めることができる。 ・平行線と折れ線の角の大きさの求め方を考え、図にかき加えた線や、根拠となる図形の性質を明らかにして説明することができる。 ・平面図形の合同の意味と表し方を知り、合同な図形の性質を理解する。 ・三角形の合同条件を理解する。 ・2つの三角形が合同かどうかを、三角形の合同条件を使って判断することができる。 ・ことがらの仮定と結論の意味を確認する。 ・証明の書き方を理解する。 ・根拠となることがらを明らかにして、簡単な図形の性質を証明することができる。	・多角形の内角と外角の和の求め方を、もとにしていることがらを明らかにして説明する。 ・対頂角、同位角、錯角の意味を理解する。 ・対頂角は等しいこと、平行線と同位角、錯角の関係を、論理的に筋道を立てて説明する。 ・三角形の内角と外角の性質を、論理的に筋道を立てて説明する。 ・三角形の内角、外角の性質や多角形の内角の和、外角の和の性質を利用して、角の大きさを求める。 ・平行線と折れ線の角の大きさの求め方を考え、図にかき加えた線や、根拠となる図形の性質を明らかにして説明する。 ・平面図形の合同の意味と表し方を知り、合同な図形の性質を確認する。 ・三角形の合同条件を確認する。 ・2つの三角形が合同かどうかを、三角形の合同条件を使って判断する。 ・ことがらの仮定と結論の意味を知る。 ・証明の書き方を確認する。 ・根拠となることがらを明らかにして、簡単な図形の性質を証明する。	・多角形の角についての性質が見いだせることを知っている。 ・平行線や角の性質を理解している。 ・平面図形の合同の意味及び三角形の合同条件について理解している。 ・証明の必要性和意味及びその方法について理解している。	・基本的な平面図形の性質を見いだし、平行線や角の性質をもとにしてそれらを確認め、説明することができる。	・証明の必要性和意味及び証明の方法を考えようとしている。 ・平面図形の性質について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・平面図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
12 1 2	5章 三角形と四角形 二等辺三角形の性質 二等辺三角形になるための条件 直角三角形の合同 平行四辺形の性質 平行四辺形になるための条件 特別な平行四辺形 平行線と面積 📄 ICT	2 1	・二等辺三角形や正三角形の定義を確認し、性質を証明することができる。 ・二等辺三角形になるための条件を論理的に確かめ、二等辺三角形になるための条件を利用して、図形の性質を証明することができる。 ・ことがらの逆と反例の意味を理解する。 ・2つの直角三角形が合同かどうかを、直角三角形の合同条件を使って判断することができる。 ・直角三角形の合同条件を利用して、図形の性質を証明することができる。 ・平行四辺形の定義と性質を確認し、性質を証明することができる。 ・平行四辺形の性質を利用して、図形の性質を証明することができる。 ・平行四辺形になるための条件を証明し、その条件を利用して図形の性質を証明したり、その証明を振り返って統合的・発展的に考えることができる。 ・長方形、ひし形、正方形の定義を確認し、それらが平行四辺形であることや対角線の性質を証明することができる。 ・平行線の性質を利用して、図形を等積変形することができる。	・二等辺三角形や正三角形の定義を確認し、性質を証明する。 ・二等辺三角形になるための条件を論理的に確かめ、二等辺三角形になるための条件を利用して、図形の性質を証明する。 ・ことがらの逆と反例の意味を知る。 ・2つの直角三角形が合同かどうかを、直角三角形の合同条件を使って判断する。 ・直角三角形の合同条件を利用して、図形の性質を証明する。 ・平行四辺形の定義と性質を確認し、性質を証明する。 ・平行四辺形の性質を利用して、図形の性質を証明する。 ・平行四辺形になるための条件を証明し、その条件を利用して図形の性質を証明したり、その証明を振り返って統合的・発展的に考えたりする。 ・長方形、ひし形、正方形の定義を確認し、それらが平行四辺形であることや対角線の性質を証明する。 ・平行線の性質を利用して、図形を等積変形する。	・証明の必要性和意味及びその方法について理解している。 ・定義やことがらの仮定と結論、逆の意味を理解している。 ・反例の意味を理解している。 ・正方形、ひし形、長方形が平行四辺形の特別な形であることを理解している。	・三角形の合同条件などをもとにして三角形や平行四辺形の基本的な性質を論理的に確かめることができる。 ・証明を読んで新たな性質を見だし、表現することができる。 ・三角形や平行四辺形の基本的な性質などを活用して具体的な事象を考察し、表現することができる。 ・ことがらが正しくないことを証明するために、反例をあげることができる。	・証明の必要性和意味及びその方法を考えようとしている。 ・平面図形の性質や図形の合同について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・平面図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
2 3	6章 確率 同様に確からしいこと いろいろな確率	9	・多数回の試行によって得られる確率と関連付けて、場合の数をもとにして得られる確率の必要性和意味及び確率の求め方を理解する。 ・起こりうる場合を、樹形図や表を使って全部あげたり、起こりうる場合の組み合わせを考えたりして	・多数回の試行によって得られる確率と関連付けて、場合の数をもとにして得られる確率の必要性和意味及び確率の求め方を知る。 ・起こりうる場合を、樹形図や表を使っ	・多数回の試行によって得られる確率と関連付けて、場合の数をもとにして得られる確率の必要性和意味を理解している。	・同様に確からしいことに着目し、場合の数をもとにして得られる確率の求め方を考察し表現することができる。	・場合の数をもとにして得られる確率の必要性和意味を考えようとしている。 ・不確定な事象の起こりやすさについて学んだことを

	確率による説明  		確率を求めることができる。 ・あることがらの起こらない確率の求め方を理解し，その確率を求めることができる。 ・身のまわりの事象の起こりやすさを，確率をもとにして考え，説明することができる。	て全部あげたり，起こりうる場合の組み合わせを考えたりして確率を求める。 ・あることがらの起こらない確率の求め方を理解し，その確率を求める。 ・身のまわりの事象の起こりやすさを，確率をもとにして考え，説明する。	・簡単な場合について確率を求めることができる。	・確率を用いて不確定な事象を捉え，考察し表現することができる。	生活や学習に生かそうとしている。 ・確率を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
3	7章 データの比較 四分位範囲と箱ひげ図  	5	・複数のデータの分布の傾向を比較するとき，ヒストグラムでは比較しにくいことを知る。 ・箱ひげ図と四分位範囲の意味を理解し，データを整理して箱ひげ図に表す。また，箱ひげ図と四分位範囲の特徴を知る。 ・四分位範囲や箱ひげ図を用いてデータの分布の傾向を比較して読み取り，批判的に考察し判断する。	・データを整理し，箱ひげ図に表す方法を知る。 ・四分位範囲の意味を知る。 データを整理し，箱ひげ図に表す。 ・ヒストグラムと箱ひげ図を対応させて，箱ひげ図からデータの分布の傾向や特徴を読みとる方法を考える。 ・箱ひげ図とヒストグラムの対応について知る。 ・箱ひげ図を用いて，データの傾向を調べる。 ・データの傾向を読みとり，批判的に考察し判断する。	・四分位範囲や箱ひげ図の必要性和意味を理解している。 ・コンピュータなどの情報手段を用いるなどしてデータを整理し箱ひげ図で表すことができる。	・四分位範囲や箱ひげ図を用いてデータの分布の傾向を比較して読み取り，批判的に考察し判断することができる。	・四分位範囲や箱ひげ図の必要性和意味を考えようとしている。 ・データの分布について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・四分位範囲や箱ひげ図を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。